

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6 年 3月 1 日

事業所名 くめんたる一む

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	利用児童に合わせて狭いスペースと広いスペースを使い分けている点	
	②	職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100.0%	0.0%	靴箱にマークをしたり、見通し表を使うなど視覚的なものを取り入れている。バリアフリー化されている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100.0%	0.0%	清掃は丁寧に行えている。より清潔であるよう、危険がないよう心がけている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%		今回初実施のため、次年度では意見ポストなど、意見をより取り入れられる工夫を進めていきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%	保護者に配布・HPIに公開している。	事業所として何が出来るかを次年度ではより工夫していきたい。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40.0%	60.0%		現在未実施。今後導入予定。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	事業所内だけでなく、市の研修、同グループの医療機関との合同研修を行っている	
適切な 支援の 提	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%	利用開始やモニタリング時など定期的にKIDSや独自のアセスメントを行っている。また、子どもの日々の様子や保護者との話からアセスメントし、職員で話し合い、計画に活かしている。担当者が固定化しないようにすることで、多角的に分析が行われるようにしている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%	0.0%	独自で作成したアセスメントツールや心理検査などを使用している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
児 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100.0%	0.0%	児童発達支援計画では家族支援・地域支援についても把握・配慮した内容になってはいるが、設定記載はしていない。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100.0%	0.0%	支援について話し合ったり、モニタリングを設けている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%	当該担当者や児発管、以前担当者で相談して行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	担当者が固定化しないようにしたり、必ず最近行われたプログラムなどを確認するようにしている。ただし、利用開始から間もない時や低年齢児などは、子どものわかりやすさから一部固定化もある。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%	基本は個別活動がベースだが、子どもの状態に合わせてペアで運動遊びをするなどしている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	特に運動遊びなどでペアになったり、人員が必要な際は打ち合わせを行い、役割分担を確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	支援について気づいたことを職員間で共有するために話し合いをしたり、振り返りシートなどの記録などを使って情報共有をしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	支援について振り返りシートなどの記録などを使って情報共有をしている。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	年2回の振り返りは行っている。		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	9.0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100.0%	0.0%	保護者を通しての連携の形が多く、幼稚園・保育園との連携の形が広がると良いと感じている。また、同グループのクリニックに通院している児童については、情報共有を行っている。こちらからのより積極的な関わりがおこなえるようにしたい。	クリニックとの連携がよりスムーズに行えるように、次年度より連絡帳を作成することにした。こちらでの様子の他、服薬情報などをよりこまめにやり取りができればと考えている。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在在籍なし	
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在在籍なし	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100.0%	0.0%	引継ぎなどを通して情報共有を行っている。	新設のため、まだ引継ぎをしたばかりだが、今後は就学後も見学に行き様子を共有できるようにしたいと考えている。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100.0%	0.0%		
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100.0%	0.0%	市の発達支援センターの研修などに参加している。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0.0%	100.0%	幼稚園・保育園が近隣に多くあるが、実際に関わる機会は現在ない。	
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	80.0%	20.0%		今後より市の会議に参加し、地域に密接した支援をすることを目標にしたい。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	毎回のフィードバックの時間で様子を伝えたり、家庭や幼稚園・保育園の様子などの共有を図っている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	40.0%	60.0%	具体的には行っていないが、個別に家庭での対応についてアドバイスを行っている。	今後家族支援プログラムを不定期開催を検討している。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100.0%	0.0%	支援計画の説明をし、質問・疑問がないか確認している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	職員で共有し、支援内容を相談して伝えられている。日頃から変わった所はないか気を配り、気になる事があれば話を聞くようにしている。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0.0%	100.0%	保護者会は未実施。	グループ活動が行われるようになったので、保護者同士の連携を支援する場を検討している。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%		
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%		
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	80.0%	20.0%		個人情報が入り込まれるものが職員室の机に出されたままのときがある。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	60.0%	40.0%		現在行っていない。地域の方から知っていただく機会を作ることを検討している。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100.0%	0.0%	月に一度避難訓練を行っている。また、半年に一度利用児童を含めた訓練を行っている。防犯マニュアルが欠けている。	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%		
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100.0%	0.0%	全員に周知している。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100.0%	0.0%	現段階では、食事・おやつのは提供はしていないが、確認のみ行っている。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	ヒヤリハットがあった場合は記録に残している。報告会であげることにより、再発を防止。	もう少しヒヤリハットの事例が職員から発信されると良い。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	事業所内だけでなく、市の研修、同グループの医療機関との合同研修を行っている	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100.0%	0.0%	現在、支援計画に記載している事例はなし。今後も必要があれば行えるよう職員同士で確認はしていけるとよい。虐待防止会議などで振り返る機会を設けている。行った事例はないが、行う際の流れについては確認している。それにつながる可能性のある事象など話題にあげて共有がされている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。